

「オリーブの島」の実現に向けて

オリーブの島づくり

推進計画を策定

市では、オリーブの島づくりに向けた取り組みを計画的に推進するため、平成26年度を目標年次とする「オリーブの島づくり推進計画」を策定しました。

同計画では、目標年次の栽培面積を80ヘクタール、栽培本数は64,000本、収穫量を35,000kgとするなどの目標数値を設定。また、その目標を達成するための5つの項目と12の施策を盛り込んでいます。

市オリーブ振興協議会を設置

オリーブの島づくりに向けた取り組みを推進するためには、関係機関との連携が不可欠です。

このため、平成22年6月29日に県やJA、(社)天草宝島観光協会、荅明高校、オリーブ

栽培企業など8団体で組織する「天草市オリーブ振興協議会」を設置。同協議会では、

オリーブを通じた新たな産業の創出や地域振興を図るため、栽培支援や加工品開発、販路開拓などに関する次の事業に取り組みんでいます。

①普及・啓発活動

・オリーブ栽培を検討している人々を対象にした説明会などの開催（左ページ参照）。

②栽培技術の調査・研究

・オリーブに関する講演会の開催。

③加工商品の開発に向けた調査・研究

・ホームページを活用した情報の発信。
「ホームページアドレス」
<http://hp.amakusa-web.jp/a0771/MyHp/Pub/>
・栽培技術の調査・研究
・天草型の栽培方法の確立に向けた研究。
・栽培研修会の実施。
・栽培指導の実施。
③加工商品の開発に向けた調査・研究

市内に

約7,300本のオリーブ

現在、市内で栽培されているオリーブは、約12ヘクタールの農地に約7,300本となっています（※いずれも市で把握している数値）。今後、さらなる普及活動を行うとともに、皆さんのご協力をいただきながら栽培面積の拡大に取り組んでいくことにしています。



▶オリーブ栽培研修会のようす

荅明高校と協定を締結

荅明高校の校歌には「真理の森にオリーブの玉の実ひしと培えば」という一節があり、校庭に9本のオリーブが植栽されています。そして、平成22年には同校の農場に80本のオリーブが植栽され、育苗研究が行われています。

また、校内にオリーブ検討委員会を設置し、オリーブオイルを使ったクッキー等の食品やせっけんなどの加工品の試作を行うなど、全学科（園芸科学科、食品科学科、商業科、生活情報科、普通科）をあげての取り組みが始まっています。

このような中、同校の取り組みが市が目ざす『オリーブによる6次産業化』に向けた取り組みに弾みをつけることも、オリーブに関する情報を共有し、同校と共同研究を行っていくことが有効な方策であるとして、今年3月23日に「オリーブの共同研究に関する協定」を市と同校の間で締結しました。



◀オリーブの挿し芽作業を行う同校の生徒たち

今後は、栽培研究・加工品の販売など、さまざまな分野において共同研究を進めていくこととしています。



※「オリーブの島づくり」に関する詳しいことは、本庁（別館）・農業振興課オリーブ振興係 ☎1111内線2585へお尋ねください。

インタビュー

オリーブの可能性に 夢が膨らむ



天草オリーブの会 代表 藤崎 正博さん

耕作放棄地の解消や地域づくりの一環として、倉岳町宮田地区の住民20人が集まり、市の補助事業を活用して昨年からはオリーブ栽培に取り組んでいます。現在は、50アールの農地に11種類のオリーブ200本を植栽し、今年は新たに60アール・400本を植える予定です。会員の平均年齢は70歳と高いですが、「食べるのが楽しみだね」「私は化粧水にして使おうかな」などと、まだ見ぬオリーブの実に夢を膨らませながら、みんなで楽しんで生育管理を行っています。

そして何より、この取り組みが一つの産業として根付くことで、若者が天草に残ってくれることがいちばんだと思っています。

ただ今進行中！ オリーブの島づくりへ向けた さまざまな取り組み

「五和まちづくり協議会」

オリーブオイルソムリエ・小暮剛氏を講師に招き、講演会やオリーブ料理コンテストなどを昨年からは開催。これは、オリーブの「食」の面に着目した取り組みを行うことで、オリーブを住民により身近に感じてもらうことなどが目的です。五和町内では、天草の新鮮な食材とオリーブオイルを使った料理の試作が盛んに行われるなど、地域づくりの手段としてオリーブが活用され始めています。



◀オリーブ料理コンテスト（小暮氏は中央）

オリーブを 植えませんか

オリーブは、秋植え（11月下旬から12月上旬ごろ）と春植え（3月上旬から4月下旬ごろ）があり、ほかの農作物と比べ栽培しやすい作物であるといわれています。

また、収穫した果実を搾って料理に使ったりするなどの楽しみもあります。

皆さんも、空いている農地などがありましたら、ぜひオリーブを植えてみませんか。

◆オリーブ植栽補助金の活用を

- 補助対象＝市内に住所がある市民・団体・事業所など。
- 補助対象経費＝①苗代や植栽にかかる経費 ②耕地再生や土壌改良にかかる経費など。
- 助成額＝補助対象経費の2分の1以内（10アール当たり10万円を上限）。

※申込方法や補助対象経費などの詳細は、本庁（別館）・農業振興課オリーブ振興係または牛深支所・産業振興課、その他の支所・産業建設課へお尋ねください。

◆地区別説明会へご参加ください！

オリーブの島づくりへ向けた取り組みや栽培方法などに関する地区別説明会を、次の4会場で開催します。

最寄りの会場へ、お気軽にご参加ください。

とき	ところ
9/26日㊶	一天草下島地区会場 河浦支所・2階大会議室
9/27日㊷	一天草上島地区会場 倉岳支所・2階会議室
9/28日㊸	一天草地区会場 牛深支所・2階会議室
9/29日㊹	一天草市全域 天草市民センター・大会議室

※時間はいずれも午後7時30分から午後9時まで。

【問い合わせ先】

本庁（別館）・農業振興課オリーブ振興係
☎231111内線2585